



A-PLAT

気候変動適応情報プラットフォーム
CLIMATE CHANGE ADAPTATION INFORMATION PLATFORM



地域適応センターからの質問に基づいた議論

2021年6月29日

国立環境研究所 気候変動適応センター

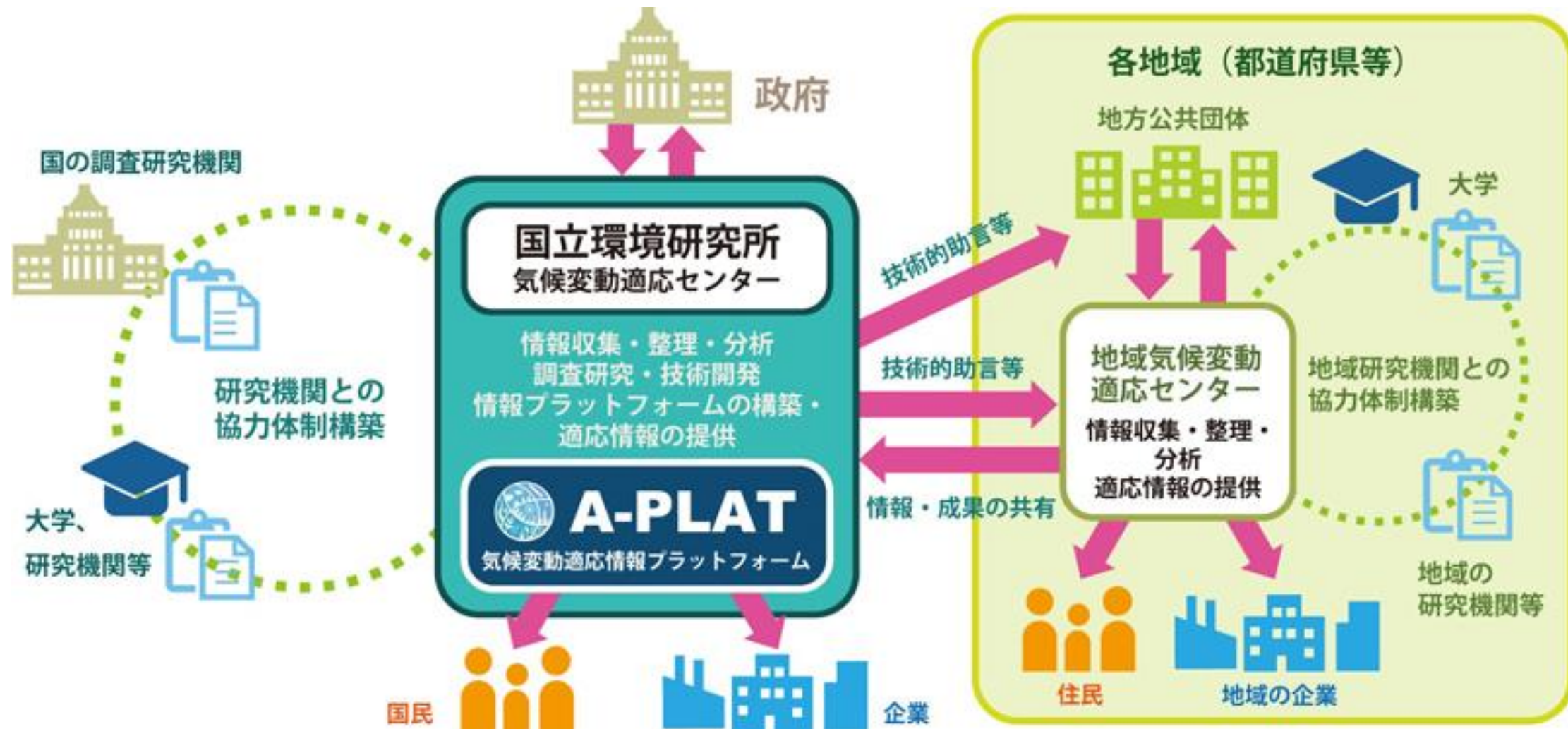
藤田知弘



このセッションの目的

環境省、地域気候変動適応センター（LCCACs）、国立環境研究所気候変動適応センター（CCCA）から寄せられた「外部の専門家から学びたいこと」についての回答をもとに、以下の二点を探る。

①日本における地域適応センターのあるべき姿 ②産業分野における適応支援のあり方



日本の地域気候変動適応センター







地域気候変動適応センター（LCCACs）の背景

地方公共団体は、以下のようなLCCACを設置することが求められています。

- 独立して設置されている、あるいは相互に連携を行っている
- 気候変動の影響と適応に関する情報の収集、整理、分析、提供を行う
- 地域における適応促進のための技術的助言を行う



LCCACsは様々な形式で設立されています。

- 地域の研究センターや地域の大学が担う  
- 都道府県環境部局が調整役を務める 
- 上位の組み合わせ（研究機関  + 地方公共団体  etc.）
- 地域の環境NPOが任命される 

Question 1

Q1 日本の地域気候変動適応センターはまだ立ち上げたばかり。具体的に取り組むべき業務についても模索している状況にある。今後、どのように活動を活発化していけばよいか？目指すべきあるべき姿（担うべき役割）はどのようなものなのか？海外の事例もふまえてアドバイスをいただきたい

- ✓ そもそも、海外では日本のような地域気候変動適応センターはありますか？ある場合には具体例を教えてください。
- ✓ 関係部局とうまく連携するための工夫や知恵とは？
- ✓ 予算や人員など、最低限必要な体制とは？海外では独自財源か？国から補助があるのか？
- ✓ 科学的知見をどこまで収集・整理・分析・発信していく役割を担うべきか？
- ✓ 適応策を主流化するための工夫や知恵とは？適応の認知度を上げるための工夫とは？
- ✓ NGO・NPOとの連携の具体例があれば教えてください

Question 2

Q2 地域気候変動適応センターの活動や、適応計画、適応策の実装に関して、目標値の設定などありますか？

- ✓ 地域気候変動適応センターの活動や貢献を計る具体的な指標などありますか？ 国際的なKPIなどありますか？
- ✓ 適応計画の策定や適応策の実施を計るために具体的な目標値を設定している例があれば教えてください。

Question 3

Q3 気候変動適応に関する企業への支援については、どのように実施例がありますか？具体的な取り組みなどについて教えてください。

- ✓ 構築しているプラットフォームについて、企業からフィードバックを受けていますか？受けている場合のどのような枠組みで受けていますか？
- ✓ 中小企業向けに適応情報を普及するための何らかの活動を行っているか？
- ✓ 企業との連携、協働の事例はありますか？あれば具体的内容を教えてください
- ✓ 民間企業が開発・保有している適応技術について、情報の収集・整理・提供を行っていますか？行っている場合には、情報収集の仕組みについて教えてください。

追加の質問（時間があれば）

Q4 プラットフォームを通じて提供される気候シナリオについて

- ✓ 採用している気候シナリオの選択の基準は？それに対するユーザーの意見はあるか？
- ✓ 複数の気候シナリオを提供しているなら、その理由は？ユーザーの反応はどうか？

Q5 影響評価予測について

影響評価予測の結果は、ユーザーが欲しい情報とずれる（ギャップがある）こともあると思います。

- ✓ そのギャップを埋めるために取り組んでいることはあるか？
- ✓ 取り組むべきことは何だと思うか？